

平成30年7月2日（月）「第5回 地域づくり小委員会」が開催されました。

■開催概要

「第5回 地域づくり小委員会」が平成30年7月2日(月)に釧路地方合同庁舎7階共用第5会議室で開催されました。

小委員会には、27名〔個人11名、団体8名、オブザーバー1名、関係行政機関7機関〕（一部兼任）が出席し、一般の方も傍聴されました。

議事では、はじめに、委員の加入及び委員長、委員長代理の交代について事務局より説明があり、加入及び交代ともに承認されました。その後、委員から話題提供として、未利用農地について委員より情報提供がされました。その後、今後の取組に向けて行われたアンケート調査の結果について報告がありました。最後に、アンケート結果を踏まえ、今後の取組内容についての議論が行われました。



▲第5回 地域づくり小委員会（平成30年7月2日）

■地域づくり小委員会とは

地域づくり小委員会は、地域産業と連携した湿原のワイズユースにより、湿原を保全・再生し、将来にわたり地域産業が豊かになる取組を進めるために設立されました。今後は、賢明な利用によって湿原の魅力度が向上する観光のあり方と、湿原の価値を活かした農業や漁業との連携のあり方について、議論を進めていく予定です。

1 委員の加入及び委員長、委員長代理の交代について

○委員の加入について

中村研二氏、鈴木信氏、内山隆氏が加入

○委員長、委員長代理の交代について

旧委員長：佐野修久氏 旧委員長代理：平岡俊一氏
新委員長：中村研二氏 新委員長代理：鈴木信氏

2 委員からの話題提供

○亀山哲委員による話題提供

～釧路湿原への人為的影響緩和と自然共生型社会実現のための土地利用の検討～

1. 未利用農地を分布と定量化する〔リモートセンシング〕
2. 水質の浄化機能はどれくらいあるのか
3. 有効活用策はなにか

3 地域づくり小委員会アンケート調査結果について

○アンケート調査結果のまとめ

- ・ワイズユースに結びつくような湿原の利用についての情報が不足している。
- ・湿原に関係する産業・事業者との連携が不足している。
- ・カヌーにおけるルール・ガイドラインの更新。

4 取組内容について

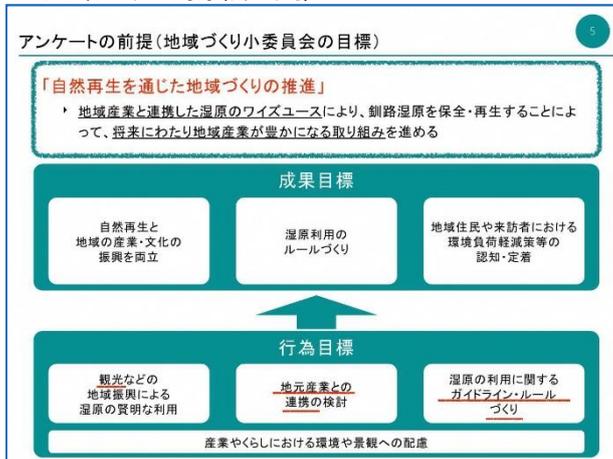
○地域づくり小委員会の役割について

- ・小委員会はワイズユースをアシストしていく役割。

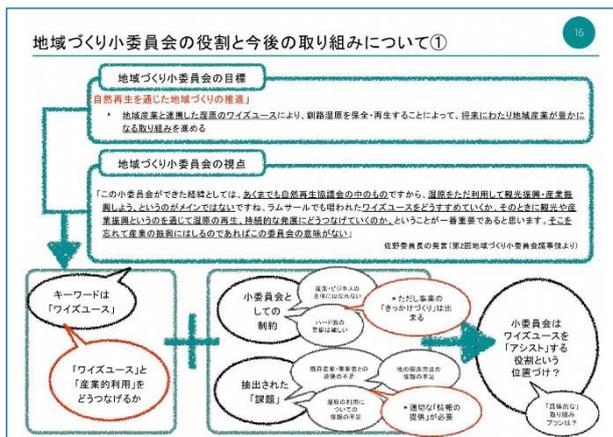
○今後の取組について

- ・釧路湿原の資源を活用を目的としたガイドブック(仮称)作成。

○地域づくり小委員会の目標



○地域づくり小委員会の役割と今後の取り組みについて①



5 意見交換

委員間で意見交換・提案等が行われました。

議論された主な内容

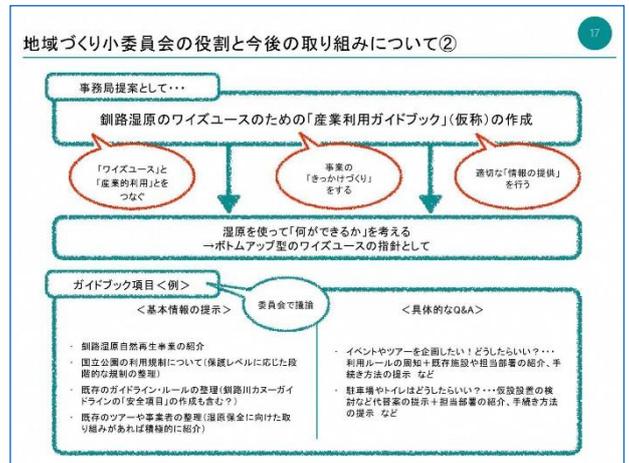
● 委員長 ● 委員

- ガイドブックを作成するとしても、委員内の意見・考えだけではいけない。各団体等との連携が必要であり、利用するのは誰かなど、再度、議論した方が良い。
- ガイドブック作成にあたって、土台となる情報の整理が必要。他の小委員会やその他団体と重複する部分もある。そういったことも考慮し、調整していくべき。
- ガイドブック作成の方向性に賛成。しかし、『作成』で終わってほしくない。作成したガイドブックをしっかりと解釈できる人、次世代に伝えられる人など、『作成後』についても検討していく必要があると思う。
- 産業の部分として、湿原の中でも土木工事等は発生すると思う。そういった土木、建設、鉄工所等々で、湿原再生に繋がる技術もあるかもしれない。現場しか知らない課題などを産業界に伝えていき、物づくりで解決していく。といった情報共有の仕方もあるかと思う。産業界と湿原のつながりになるのではないかな。
- ガイドブックの内容のイメージができていない。誰をターゲットにするのか、見てもらった上でどうしてほしいのかを明確にすべき。
- 利用規制やガイドライン・ルールだと、何ができないのかといった印象がある。反対に釧路湿原では何が出来るのか、ルールの中でもこんな価値の上がる取組ができる。そのようなことがわかるガイドブックだと意味があるのではないかな。
- 作業を始める前に、市町村や各種団体で作成された地図やルールなどを共有できる、作成のための情報共有の場、そして、あえて小委員会で作るべきものは何なのか、必要性の議論をしていく場があるといいのではないかな。
- 製造業にはこういう事がある、農業にはこういう事がある、観光業にはこういう事がある。そういったあたりが産業利用ガイドブックの役割ではないのか。
- このガイドブック作りを通して、湿原について考える人を増やす、そういう人を育てるといったところに繋がってほしいと思う。

～今後の地域づくり小委員会の進め方について～

- ガイドブック作成の方向性で進めていく。
- 各団体等で作られた地図やガイドライン、その他情報の整理を行う。
- 今後のスケジュール等、進め方についての整理を行う。

○地域づくり小委員会の役割と今後の取り組みについて②



第 5 回地域づくり小委員会 [出席者名簿 (敬省略、五十音順)]

個人 [11名 (一部兼任)]

内山 隆 清水 信彦
亀山 哲 鈴木 信
神田 房行 (釧路自然保護協会と兼任) 鶴間 秀典
木塚 俊和 中村 研二
木村 勲 平岡 俊一
佐野 修久

団体 [8団体/8名 (一部兼任)]

一般社団法人 釧路観光コンベンション協会 [専務理事 田中 正]
釧路川水質保全協議会 [釧路市水質管理課 主査 山下 泰裕]
釧路川流域町村観光推進協議会 [事務局 下向 渉 (釧路町と兼任)]
釧路観光連盟 [専務理事 長沼 大平]
釧路自然保護協会 [会長 神田 房行 (個人と兼任)]
こどもエコクラブくしろ [近藤 一燈美]
特定非営利活動法人 EnVision環境保全事務所 [渡會 敏明]
特定非営利活動法人 タンチョウ保護研究グループ [井上 雅子]

関係行政機関 [7機関/7名 (一部兼任)]

国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部 釧路河川事務所 [所長 渡邊 和好]
環境省 釧路自然環境事務所 [次長 徳田 裕之]
北海道 釧路総合振興局 [環境生活課 自然環境係長 高橋 克巳]
釧路市 [産業振興部 観光振興監 菅野 隆博]
釧路町 [経済部産業経済課商工観光係 主事 下向 渉 (釧路川流域町村観光推進協議会と兼任)]
弟子屈町 [観光商工課 主事補 三浦 翔]
鶴居村 [産業振興課 主事補 吉田 早穂]

オブザーバー [1団体/1名]

釧路商工会議所 [地域振興課長 斎藤 大]

資料の公開方法

委員会で使用した資料および議事要旨は、釧路湿原自然再生協議会ホームページにて公開しています。

<http://www.hkd.mlit.go.jp/ks/tisui/qgmend0000003ppq.html>

ご意見募集

釧路湿原自然再生協議会運営事務局では皆様のご意見を募集しています
電話・FAXにて事務局までご連絡ください。

釧路湿原自然再生協議会 運営事務局

TEL(0154)23-1353

FAX(0154)24-6839